

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、持ち直している」

項目	前回（4年10月判断）	今回（5年1月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）5年1月判断は、前回4年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、人流の回復やインバウンドの増加により、持ち直している。生産活動は、供給面での制約が徐々に緩和され、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（4年10月判断）	今回（5年1月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	持ち直している	
生産活動	持ち直している	持ち直している	
雇用情勢	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
設備投資	4年度は前年度を上回る見込みとなっている	4年度は前年度を上回る見込みとなっている	
企業収益	4年度は増益見込みとなっている	4年度は増益見込みとなっている	
住宅建設	前年並みとなっている	前年並みとなっている	
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外経済の下振れが景気の下押しリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

【主な項目】

■ 個人消費 「持ち直している」

百貨店販売は、国内客の回復に加え、インバウンドの増加により免税売上が増加するなど、回復の動きがみられる。スーパー販売は、冷凍食品や総菜などの中食需要が底堅いほか、値上げの影響もあり売上が増加している。コンビニエンスストア販売及びドラッグストア販売は、都市部や観光地の店舗を中心に、国内観光客やビジネス客のほか、インバウンドの増加もあり、売上が増加している。

ホームセンター販売は、物価高による客足の減少がみられ、弱い動きとなっている。家電販売は、一部では省エネ製品への買い替えの動きはあるものの、横ばいの状況にある。乗用車の新車登録届出数は、供給面での制約の影響が和らぎ、前年を上回っている。旅行取扱の状況は、海外旅行は引き続き厳しい状況にあるものの、各種支援策の後押しもあり国内旅行は持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- ラグジュアリー商品などが引き続き好調なほか、インバウンドは中国人客が戻っていないものの、消費意欲の高い訪日客により免税売上は堅調に推移している。(百貨店・大企業)
- プライベートブランド商品が好調なほか、ホームパーティなど家族や仲間と集まる機会も増えていることなどから売上は伸びている。(スーパー・大企業)
- 訪日外国人の増加により外国人利用客が増加したことや、コロナの影響も緩和し、ハロウィンやクリスマスといったイベントなどでも外出が増えていることから、売上が増加している。(コンビニエンスストア・大企業)
- 物価高による消費マインドの低下がみられ、コロナ禍で好調であったDIY、インテリア、収納用品など全般的に不調となっている。(ホームセンター・大企業)
- 電気代高騰から省エネのエアコンは好調となっているものの、テレビをはじめ全般的には商品の売れ行きは良くない。(家電量販店・大企業)
- 部品不足の影響が多少改善傾向にあるものの、ほぼ状況は変わっていない。受注状況も変わらず、受注残はやや積み増しの状況。(自動車販売店・中小企業)
- 国内旅行は、第8波の影響もさほど見られず、10月からの全国旅行支援が後押しとなり盛況となった。海外旅行は、円安、燃料高の影響もあり伸び悩んでいる。(旅行代理店・中堅企業)
- 大人数での宴会はほとんど見られなくなったが、年末年始は、少人数のグループ客などで大変賑わった。(飲食サービス・中堅企業)

■ 生産活動 「持ち直している」

鉱工業指数(生産)は、供給面での制約が徐々に緩和され、輸送機械で上昇している。また生産用機械で、半導体製造装置や建設用機械が堅調に推移しており、生産活動は持ち直している。

- 挽回生産を行っており、生産・販売ともに好調。ただし、部品不足は徐々に解消しつつあるが、完全に解消とまではいかない状況が続いている。(輸送機械・大企業)
- 主力の半導体製造装置部門は、前期並みの高水準で推移している。ただし、半導体の需要低迷の兆しがあり、一部の顧客からは出荷を後ろ倒しにするよう依頼が来ている。(生産用機械・大企業)
- EV関連については世界的な脱炭素化の進展も相まって、需要が減少するとは考えておらず今後も堅調に推移していくと考えている。(電気機械・大企業)
- 中国を中心としてスマホやパソコン販売が低下しており、これに伴い主力製品の販売が大きく落ち込んでいる。(電子部品・デバイス・大企業)

■ 雇用情勢 「持ち直しつつある」

有効求人倍率は横ばいで推移しているものの、新規求人数は増加傾向にあり、完全失業率もおおむね前年を下回って推移していることから、雇用情勢は持ち直しつつある。

- 10月以降の宿泊者数の急増、全国旅行支援手続きの対応などにより、フロントを中心に人手が不足したが、バック部門の人員を応援に充てるなどにより何とか凌いだ。(宿泊・中堅企業)
- コロナの影響が少なくなったことや観光シーズンであったことから、貸切バス事業が好調であり、ドライバーが不足している。(陸運・大企業)
- インバウンドの回復を見据え、新規出店を計画しており、求人を増やしている。(ドラッグストア・中小企業)
- 動き出した飲食業界に人が流れ、非正規職員においてやや不足感がある。(家電量販店・大企業)

- **設備投資「4年度は前年度を上回る見込みとなっている」**（全産業）「法人企業景気予測調査」令和4年10～12月期
 - 製造業では、生産用機械、鉄鋼など、ほとんどの業種で前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
 - 非製造業では、不動産などが前年度を下回っているものの、建設、運輸・郵便などが前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

➢ 研究開発拠点の拡充、生産・物流体制の強化、基幹システム関係の投資などを計画。（生産用機械・大企業）
 ➢ 物流施設への投資額が増加。（建設・大企業）

- **企業収益「4年度は増益見込みとなっている」**（全産業）「法人企業景気予測調査」令和4年10～12月期
 - 製造業では、食料品などが減益となるものの、化学、電気機械などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
 - 非製造業では、建設などが減益となるものの、運輸・郵便、卸売などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

- **住宅建設「前年並みとなっている」**
 - 新設住宅着工戸数で見ると、持家などが減少しているものの、貸家などが増加していることから、前年並みとなっている。

➢ 相続税対策の建築需要が堅調であることや、コロナ禍で止まっていた商談が進み始めたことなどから賃貸住宅事業が好調である。（建設・大企業）

- **輸出「前年を上回っている」**
 - 管内通関実績（円ベース）で見ると、輸出は、アメリカ向けの建設用・鉱山用機械や無機化合物などが増加していることから、前年を上回っている。なお、輸入は、前年を上回っている。

【その他の項目】

- **企業の景況感** 法人企業景気予測調査（令和4年10～12月期調査）の景況判断BSIで見ると、全産業では「下降」超となっている。先行きについて、5年1～3月期は、全産業では「下降」超の見通しとなっている。
- **公共事業** 前払金保証請負金額で見ると、独立行政法人等や市町村などで増加していることから、前年を上回っている。
- **金融** 貸出金残高は、前年を上回っている。
- **消費者物価** 大阪市の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）で見ると、教養娯楽が下落しているものの、食料などが上昇していることから、前年を上回っている。
- **企業倒産** 倒産件数は、前年を上回っている。

3. 各府県の総括判断

	前回（4年10月判断）	今回（5年1月判断）	前回比較	総括判断の要点
大阪府	持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は持ち直している。生産活動は回復の動きに一服感がみられる。雇用情勢は持ち直しつつある。
滋賀県	持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は緩やかに回復しつつある。生産活動は原材料価格高騰等の影響がみられるものの、回復しつつある。雇用情勢は持ち直しつつある。
京都府	持ち直している	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は緩やかに回復しつつある。生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は緩やかに持ち直している。
兵庫県	持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は持ち直している。生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は持ち直しつつある。
奈良県	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は緩やかに回復しつつある。生産活動は原材料価格高騰の影響がみられるものの、持ち直しつつある。雇用情勢は持ち直しつつある。
和歌山県	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は緩やかに持ち直している。生産活動は持ち直している。雇用情勢は持ち直しつつある。